

飯高応援団設立趣意書

飯田高校は、飯田女学校、飯田中学校を前身とする創立106年の歴史を持つ奥能登の伝統校です。幾度かの学科改編を経て、普通科と総合学科を併設する現在の「飯田高校」となったのは平成20年のことでした。

この間、飯田高校は「文武両道」を校是とし、「奥能登の雄」としてその名を響かせてきました。

古くは相撲部、柔道部、放送部が全国大会で活躍し、近年ではウェイトリフティング部や陸上競技部が全国を舞台に優勝や上位入賞をとげています。また今夏、2年連続で21世紀枠に選出された野球部が、地域の応援を受けて、地域の子どもたちの力で、繰り広げた激闘は記憶に新しいところです。

学業においても県内トップクラスの力を有しており、主体的、対話的な深い学びを目指し、「ゆめかな」プロジェクトを始めとした地域に開かれた教育課程の発展を目指してきました。難関大をはじめ例年40件を超える国公立大学合格実績や20件を超える公務員合格の進路実績にそれは表れています。

「清慎勤」の校訓のもと、謙虚で奢ることなく、なにごとにも最後まで真摯に向き合うその姿勢は、能登人特有の粘り強さや芯の強さを体現しており、これまで教育や医療、行政など幅広い分野にわたって地域創生や地域活性化に尽力する人材を輩出してきました。

しかしながら人口の一極集中による地方の人口減少は著しく、全国的な少子化現象の影響は、ここ奥能登においてきわめて深刻な形で表れて来ています。

地域の小中学校では再編が進み、飯田高校でも、平成20年には5学級200名であった募集定員が、平成24年には4学級160名、平成30年には3学級120名に縮小されてきました。

珠洲市4中学、能登町4中学の中学3年生数は、昨年度206名でしたが、8年後には140名を切ることが予測されています。このまま事態が推移していくと、高みを目指して切磋琢磨する飯田高校の学習環境が損なわれることが懸念されます。また充実した部活動や、学校や地域の活力が失われていくことが危惧されます。

わたしたちは、飯田高校生が勉学や部活動といった教育活動により専念し、活力ある飯田高校が末永く発展することを願います。そのため現在、2市1町から通学する389名の生徒の通学条件の援助や、学校の教育活動の援助に資することが必要であると考えます。

よってここに、飯高応援団の設立を発起する次第です。発足の時点では、目の前の現状に与える影響はささやかですが、移り変わっていく状況の中で多くの方々の賛同を得て、やがてそれが地域の大きな流れとなることを信じます。

平成30年10月30日

飯高応援団会長 藤野裕之

飯高応援団に入会しませんか

飯高応援団では、会員を募集しています。

年会費は、個人一口3千円より、団体一口5千円よりです。

年会費は、通学条件の援助に関すること、教育活動の援助に関することなどに充てられます。

珠洲市唯一の高等学校、飯田高校を応援してください。

入会申し込みは、

郵便振込 00750-5-101941

飯高応援団（ハンコウオウエンダン）

で受け付けています。 よろしく願いいたします。

お問い合わせ先
石川県立飯田高等学校
教頭 笹谷・大工
電話 0768-82-0693